

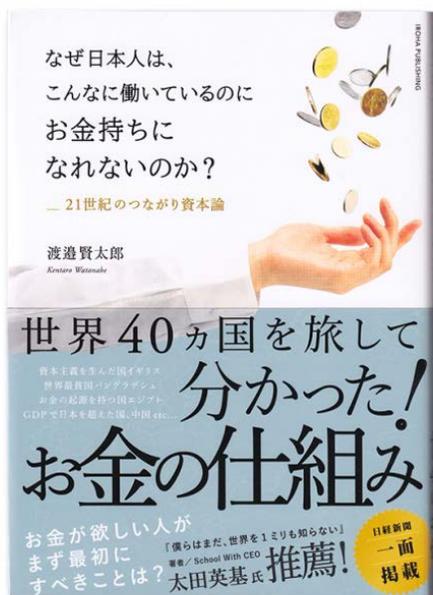
関連ワード：ビジネス, 経済, 金融, つながり資本論, 世界一周, 旅

## 【書店ランキング続々1位】

# ピケティ『21世紀の資本論』に次ぐ、 「お金」の指南書が出版されました！

「お金」をテーマに、世界40カ国を旅した著者が説いた“つながり資本論”をまとめた書籍、『なぜ日本人はこんなに働いているのにお金持ちになれないのか？』（いろは出版・2015年2月6日発売）が、書店ランキングで続々1位に！ピケティの「21世紀の資本論」に関心が集まる中、「金融」にかわる資本として「つながり」を提唱した書籍に、共感の声が多数届いています。

## ○ 書籍情報



## 『なぜ日本人は、こんなに働いているのに お金持ちになれないのか？ \_21世紀のつながり資本論』

著：渡邊賢太郎 発行元：いろは出版

価格：1,600円+税 サイズ：四六版(127×188)

**発売1週間で  
増刷が決定しました！**

## 『なぜ日本人は、こんなに働いているのに お金持ちになれないのか？』

誰もが抱くこの疑問に「答え」と「改善策」を提案する、「21世紀のつながり資本論」待望の書籍化！元証券会社の著者が、リーマンショックを機に2年40カ国、「お金とは何か？」を学ぶために世界を旅した物語をまとめた一冊です。

## ■書店ランキング続々1位！amazonでも大反響！

amazonでは、「金融資本が生活を脅かす現代だからこそ読んでおきたい一冊」「若い人に読んで欲しい」「やっとお金との付き合い方が分かった」との声が寄せられ、口コミから発売後に書店ランキング続々1位に。



▲TSUTAYA 三軒茶屋店(東京)▲



▲TSUTAYA BOOK STORE TENJIN(福岡)

## ■「金融」に代わる、資本としての「つながり」を提唱する「つながり資本論」

著者の渡邊賢太郎氏は、「なぜ日本人はこんなに働いているのにお金持ちになれないのか」の問いに対し、「日本人は、世界一お金のことを知らないからだ」と答えます。

お金の「仕組み」を学び、「扱い方」を少し変えるだけで、お金持ちに近づくきっかけを得られる。それだけでなく、「つながりキャピタリズム(資本主義)」とも呼べる新しいお金の世界について理解することで、お金を稼ぐ手段である「働く」という行為や、お金でつながる人々との付き合い方さえも、劇的に楽しく、豊かになるという事実を、本書を通して説いています。

また本書は、世界40カ国を旅して分かった、“つながり資本論”をひもとく旅行記でもあります。その国での体験を元に、「お金とは何か」を考察しています。

CONTENTS	
<p><b>第二章</b> お金の歴史を紐解くー「お金とは何か？」という問いについて P.77</p> <p>ペトナム — お金を燃やすおばさん P.81</p> <p>エジプト — お金の起源を持つ国々 P.91</p> <p>トルコ</p> <p>イラン</p> <p>スウェーデン</p> <p>アメリカ — 近代のお金が進化した国々 P.93</p>	<p><b>第一章</b> 日本人は、世界へ、お金のことを知らないという事実について P.11</p> <p>イギリス — 国家の中央銀行に小学生が遊びに行く国 P.13</p> <p>インド — 顔札のない面白い物 P.17</p> <p>日本 — 証券マンが見てきた、不幸せなお金持ち P.19</p>
<p><b>第三章</b> お金に振り回される人と、道具として使いこなす人の違いについて P.41</p> <p>中国 — ちぎれたお札、落書きだらけのお札 P.127</p> <p>バンブーデシ — 世界最貧国に生きる幸福な人々 P.145</p> <p>デンマーク — 夕方5時には皆が仕事を終える国 P.145</p> <p>ウガンダ — ハローのあとに続くのは、マネーという言葉 P.149</p> <p>ブラジル — 深夜のバスターミナルのポツタクリ P.151</p>	<p><b>第四章</b> お金の危うさと、人間の弱さについて P.159</p> <p>ボリビア — ボトシ 細山が生んだ「金余り」 P.161</p>

▲目次(一部抜粋)

■発売後、1週間で増刷決定。全国の書店に拡大中!

旅行記としての取っ付きやすさと、「お金の本質」という誰もが気になる切り口、それに対する“つながり資本論”という斬新な答えから、売れ行きは好調。発売1週間で増刷が決まりました。全国の書店で、大きく展開しています。

○著者プロフィール

渡邊 賢太郎(ワタナベ ケンタロウ)

1982年生まれ。大分県別府市出身。立命館アジア太平洋大学卒業。日本FP協会、認定AFP(アフィリエイテッド・ファイナンシャル・プランナー)取得。リーマン・ショックを機に、三菱UFJモルガン・スタンレー証券を退職。2011年5月から2013年4月まで、2年間で40カ国を訪れる世界一周の旅に出る。旅のテーマは「お金とは何か?」。帰国後、2013年8月より、NPO法人ETIC. に入社。Social Startup Accelerator Program『SUSANOO』のプロジェクトリーダーを務める。

【本件に関するお問い合わせ】

いろは出版株式会社 広報担当：内山 (kurando@hello-iroha.com)

TEL：075-712-1680 FAX：075-712-1681

3/3 枚目